

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

| | |
|---|---------|
| 大 学 名 | 北九州市立大学 |
| 申 請 区 分 | タイプB |
| 〔評価コメント〕 | |
| <p>地域との連携を重視する公立大学の使命や歴史を踏まえた、極めて具体的で、明確な構想である。そのため、育成すべきグローバル人材像も明確で、特にアジアでの活躍を目指す人材の育成への焦点化や、地域や企業との連携を重視した育成計画は、実現性が高いと評価できる。また、本事業を副専攻プログラムとすることで、人材育成プログラムとしての位置付けがより一層明確になっている。</p> <p>更に、グローバル人材の育成について積極的であり、シラバスの充実、ナンバリングの導入等体系的なカリキュラムの整備、GPA 等厳格な成績評価とその活用、履修可能な上限単位数の設定等により単位制度の実質化を図り、学士課程教育の質的向上に取り組んでいる。加えて、外国人教員や外国語による教育経験を有する日本人教員の配置等、教育体制のグローバル化を図っており、教員の教育力を評価する取り組みやその結果の人事への反映等、教育力向上のためのインセンティブを図っている。</p> <p>以上のようなことを勘案すると、本事業の趣旨にかなった極めて優れた構想であると判断できる。</p> <p>しかしながら、優れた構想であるにもかかわらず、申請学部のみでの取り組みに限定されているように思われる。タイプBの趣旨から鑑みても、他の学部、キャンパスにも取り組みを拡大することによって、地域に根差したグローバルな大学のモデルへと発展することが望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p> | |